



議会における決算報告

平成20年度 一般会計決算の概要

歳入決算額 **37億110万円**

歳入決算額は、37億110万円で前年度決算額36億7千2百36万円に比べ0.8%（2千8百74万円）の増額になりました。歳入の主な特徴点として、町税は個人所得割が

歳入

繰越額を控除した実質的な収支は、1億8千7百84万円の黒字、当該年度だけの単年度収支は、6千2百56万円で3年ぶりに黒字に転換しました。また、財政調整の基金取り崩しや地方債の繰り上げ償還など、黒字要素や赤字要素を控除した実質単年度収支についても、3年ぶりに黒字に転換しました。

第3回定例町議会が9月7日から17日まで開催され、一般会計及び特別会計決算の認定等が可決されました。

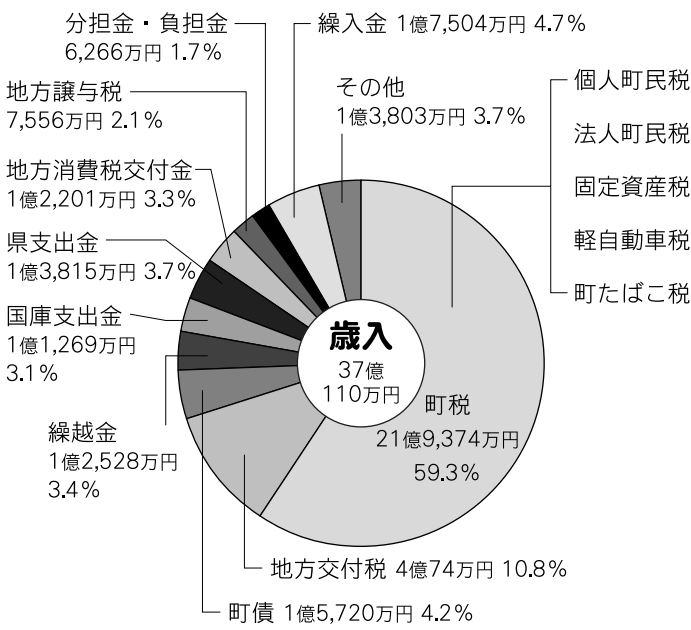
一般会計の決算は、歳入総額37億110万円、歳出総額35億5百68万円で、歳入は4年ぶりに前年度決算額を上回り、歳出は1年ぶりに前年度決算額を下回りました。

繰越額を控除した実質的な収支は、1億8千7百84万円の黒字、当該年度だけの単年度収支は、6千2百56万円で3年ぶりに黒字に転換しました。

また、財政調整の基金取り崩しや地方債の繰り上げ償還など、黒字要素や赤字要素を控除した実質単年度収支についても、3年ぶりに黒字に転換しました。

減少したものの、法人税割は前事業年度の堅調な伸びを受けて増加、さらに、企業の工場新築や機械導入などにより固定資産税の増加を反映して、4年連続で20億円を超えました。

また、地方交付税は、前年度の法人税割の減少などから増加、国庫支出金及び県支出金は、保育所運営費負担金の減などにより減少し、歳入全体として増額になりました。



また、地方交付税は、前年度の法人税割の減少などから増加、国庫支出金及び県支出金は、保育所運営費負担金の減などにより減少し、歳入全体として増額になりました。

町税の推移

歳入の半分を占める町税は、わずかながら上昇しました。また、平成20年度の徴収率は、県内44市町村中第2位で、県平均90.5%（速報値）よりも高いポイントになっています。町では、今後も徴収率向上を目指し、自主財源の確保に努めます。

	H16	H17	H18	H19	H20
個人町民税	3.2	3.5	3.7	4.7	4.6
法人町民税	3.0	3.2	4.3	3.4	3.5
固定資産税	12.6	12.6	12.1	12.3	12.9
その他	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
合計	19.7	20.2	21.0	21.3	21.9
徴収率	94.7%	95.9%	96.4%	96.5%	96.4%

※国民健康保険税を除く。

決算額を人口で割り、1人当りを家計に例えたものです。（単位：円）

支出		収入	
食費 (人件費)	73,035	給料 (町税)	226,884
医療費 (扶助費)	35,542	パート収入 (使用料、分担金等)	14,762
ローン返済 (公債費)	53,156	定期預金の解約 (繰入金)	18,103
住宅増築工事 (普通建設事業費)	9,750	前月からの繰越 (繰越金)	12,957
生活費 (光熱水費、物品購入費など)	103,049	小計	272,706
車検、家の修繕費 (維持補修費)	1,722	親からの仕送り (地方交付税、国庫支出金等)	108,568
子どもへの仕送り (繰入金)	78,459	ローン借入 (町債)	16,258
貯金 (積立金、投資及び出資金、貸付金)	7,855	小計	124,826
合計	362,568	合計	397,532

(人口9,669人 平成21年3月31日現在)